

誰もが抱える悩みを「パワツ」と解決！



早稲田アカデミー
教育事業第二本部副本部長
福田 貴一

福田貴一先生の 福が来るアドバイス

日々の学習に活用できる「ビジネスフレームワーク」

学習計画に「PDCAサイクル」を応用する

お子様の学習計画の作成やチェックに活用できる一般的な「ビジネスフレームワーク」(ビジネス)における問題解決のための枠組み」として、「ここでは「PDCAサイクル」について考えてみたいと思います。

お仕事をなさっている方であれば「PDCAサイクル」という言葉はお聞きになったことがあるでしょう。仕事の進め方としては広く知られているもので、ある意味古典的な手法ではありますが、私は今でも仕事をするときに意識することがありますし、「お子様の学習計画」を考えるときにも応用できると考えています。

「PDCAサイクル」とは、「PLAN」(計画)→DO(実行)→CHECK(検証)→ACTION

大切です。「これができなかった」「この日はだめだった」という失敗例だけでなく、うまく進められた日も確認しながら、どのようなときにうまくいき、どのようなときにうまくいかないのか、という点を見ていくようにしてください。例えば、国語の課題は40分集中力が続くけれど、算数は20分程度で疲れが出てきてしまう、といった事象を見ていくわけです。お子様の性格や成長段階、さらには科目や単元の得意・不得意などといった要素も考えていくとよいでしょう。

検証(CHECK)が終わったところで、改善(ACTION)を考えていくことになります。改善は、どのように取り組み、どのように進められたかというお子様の「DO」に対してももちろんですが、「PLAN」の見直しと改善もとても大切になります。

「KPT法」を用いて評価する

もう一つ、お子様の学習に活用できるものをご紹介します。「KPT法」と呼ばれる「仕事を振り返るための手法」です。チームで仕事を進めるような会社内のプロジェクトなどで、ある程度の成果が出た段階で行われることが多いようです。三つの項目に分けて仕事の結果を評価し、次への対策を考えるとという手法で、お子様のテストの振り返りを行う際に有効だと考えています。

●KPT法(継続)・・・良かった点、このまま継続

あるお母様から伺った話です。お子様の学習計画を立てたもののうまく進めることができず、お父様に相談されたそうです。すると、お父様が学習計画の作成とチェックを担当してくださるようになり、そこからうまく進むようになったとのことでした。お父様は、「仕事の進め方を応用しただけだよ」とおっしゃっていたそうです。今回は、お子様の学習計画に生かせる仕事の手法をご紹介します。

(改善)を繰り返すことで継続的に業務を改善していく、という方法です。

小学生の場合、「PLAN」はお父様・お母様が考えられることが多いでしょう。「DO」はもちろんお子様の役割です。そして、その先の「CHECK」と「ACTION」の役割は再び親に戻ってきます。ご家庭でお子様の学習計画を立てて進めていく場合は、このなかの「PLAN」と「DO」に意識が傾きがちです。ただ、この流れのなかで大切なのは、じつは「CHECK」と「ACTION」で、この部分の精度を高めていくのがサイクルをうまく回すためのコツになります。

学習計画(PLAN)を立てるときは、どうしても理想的なものになりがちです。「こんなふうにしてほしい」「こうやればうまくいく」という保護者目線での計画になってしまいう場合

続いていけばよい点

●PROBLEM(課題)・・・良くなかった点、今後改善が必要な点

●TRY(挑戦)・・・今後取り組んでいく点、課題の解決策、さらなる挑戦

お子様のテスト結果の振り返りに使えそうなイメージが、おわかりいただけるでしょうか。

「PROBLEM」を指摘するだけでは……

テストが終わった後、もしくはテストの結果が出てきたときに指摘したくなるのは、できなかつたところ、つまり「PROBLEM」になりがちです。ただ、良くなかつたところを指摘されるのは、お子様にとってうれしいことではないはずです。それが続いてしまうと「自己肯定感」がだんだんと失われ、学習に対する自信がなくなったり、テストを嫌いになってしまったり……ということにもつながりかねません。

まずはテスト全体をご確認いただき、最初に「うまくいったところ、良かった点(KEEP)」「

AUG
21



がある、ということですが。また、お子様の学習計画の場合、計画者と実行者が異なる、という点も、計画が理想的なものに傾きがちなる一つの要因です。

そして、保護者の方が完成した計画通りに実行してほしいと思うあまり、うまくいかなかったときに「実行したお子様に責任がある」と考えてしまふ可能性があります。しかし、計画そのものに無理があった、という可能性も否定できないのです。

「学習計画」をうまく実行するための「CHECK」(ACTION)

学習計画をきちんと実行できているかどうかを検証(CHECK)する際には、客観的に、そしてある程度の期間を対象に行うことが

を評価してあげてください。そのうえで「うまくいっていないので改善するべき課題(PROBLEM)」を指摘し、そして「改善のための解決策・さらに進めていきたいポイント(TRY)」をお子様と一緒に考えていただければと思います。

よくよく考えてみると、私たち大人が仕事で使っている「ビジネスフレームワーク」のなかには、お子様の学習の進め方に活用できるものがまだまだあるように思います。

この記事がお手元に届くのは、6月の終わりから7月の初めにかけて。もうすぐ、中学受験を目指す小学生にとって、とても大切な時期である「夏」がやってきます。今回ご紹介させていただいた内容を参考にさせていただき、充実した夏休みをお過ごしください。

福田 貴一の
四つ葉café



中学受験をお考えの小学校3・4年生のお子様をお持ちの保護者様のためのブログです。
早稲田アカデミー
教育事業第二本部
副本部長
福田 貴一

中学受験に関するブログを公開しています。このブログでは、学習計画の立て方、やる気の引き出し方、テストの成績の見方、学校情報など、中学入試に関するさまざまなことについて書いています。

詳細はWebをご確認ください。

早稲田アカデミー



左の二次元コードを読み込んでご確認ください

スマートフォンのみ対応